



生徒とのふれあい15 献血

谷内 純一



Nくんが献血手帳を見せてくれたとき、私は驚きました。短期間の間に私の献血回数を上回る献血をしていたからです。実は授業中自分の献血経験を話したことがあり、それからNくんは献血をはじめてくれたのです。私は献血を勧めたわけではありませんが、彼の健康を気遣い、自分の発言は慎重にしないといけないと自戒しました。Nくんの真面目さが分かるエピソードです。

保護者面談の日、私は生徒部長なので、面談予定はありませんでした。どういふいきさつで、Nくんのお母さんと話すことになったのか、よく覚えていません。お母さんは私に「おぼが好すぎるんですよ。こんなことがありません。空手の指導書を買いたいと言いますので、空手などは本を読んで習得できるものではないよ。ちゃんとした指導者について、練習しないと身につかない。だから本を買うのはやめなさい」と言いましたが、息子は聞かずに買いました。でも、私の言ったとおり、すぐに練習は中断してしまいました。私が、息子にそのことを言いますと、「本が悪いのではなくて、自分が悪い」といいました。あの子はなんでも人を責めることはありません。全部自分のせいにしてしまいます。そんなところが心配です。

あれは父親譲りだと思います。夫についてはこんなことがありました。私たち夫婦、息子二人と四人で宇佐へ潮干狩りに行くことが決まっていた。私はそれを大変楽しみにしていました。ところが当日になって、そのことを聞きつけた隣の奥さんが「私も行きたいと言いつたので、すると夫は『あつそうですか。それなら、家内は乗らなくて、問題ありませんのでどうぞ乗ってください』と私を軽四からおろして、その奥さんを乗せて、夫と子供二人の四人で宇佐へ行つてしまったんですよ。私

は何日も前から楽しみにしていたのに、こんなことになってしまった。本当にがっかりしました。私には驚き、お母さんに同情しました。でも、そのお母さんを適切に慰めることができなかつた。ただ聴いてあげただけでした。そんな自分が情けなかつた。『立派すぎる話にはどこかに無理がある、だからに犠牲を強いて』と思いました。

マイナンバーと社会保障

5月20日、オーテピア高知図書館で、高知県社会保障推進協議会の総会前に「マイナンバーと社会保障」と題して、学習会が開かれました。講師は尾道の弁護士・大住広太さん。オンライン講演でしたが、シャープで論理的・理知的な

話には納得するしかなかったです。高退協会員の中にもオンライン視聴している人もいて、10名の参加でした。私は2013年に番号法が成立したとき、国民総背番号にして個人情報国が管理するなど全く腹が立つて思っていました。その後のマイナンバー制度の施行やマイナポータル運用開始、健康保険・戸籍等の法拡大、デジタル改革関連法を成立させ口座情報とのひもづけ、国家資格への利用拡大。今年の国会で、マイナンバー法改正案など：悪法を成立させたいもの、年金情報を他人が閲覧できたり、マイナ保険証に別人の医療情報が登録されたり、住民票の写しなど

第193回高退協読書会(8月例会)案内

2023年8月17日(木)14:00 ムー荘2F

6月例会は「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」ブレイディみかこ(著)を課題本に高橋泰宏、谷内純一、樋口勇雄、山本晶子、大川法由記の5名で行われました。8月例会は以下のように行われます。参加希望者は直接お越しください。

8月17日(木)14:00~
ムー荘2F(205号室)
参加費 600円(会場使用料)
テキスト「吉野源三郎の生涯 平和の意志 編集の力」岩倉博(著)
出版社：花伝社 税込価格：¥2,200



◎出版社からの紹介：同時代をつかみ、時代を超えてメッセージを伝え続ける吉野の精神とその源泉。不朽の名作『君たちはどう生きるか』、雑誌『世界』を生み出した希代の名編集者、吉野源三郎。キリスト教との出会い、帝大での哲学徒時代、そして岩波書店編集長と顧問時代。「一以貫之」の精神でそれぞれの時代の不正義に抗して平和を希求し続けた「24時間ジャーナリスト」の生涯を追う。

!!
：など、ガンパロー
(小松茂弘)